



大いちょう

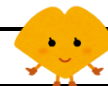


令和8年 10月 9日
富士市立伝法小学校
校長 田中 裕子

朝晩は秋らしさを感じるようになりましたが、まだまだ厳しい残暑の毎日となっております。夏休みが終わって、1か月半。子どもたちは、学習や運動、そして友達との楽しい時間を笑顔で過ごしています。

さて、7月には、「教育に関わるアンケート(保護者回答)」にご協力いただき、ありがとうございました。皆様が感じている子どもや学校への思い、そして、子どもたちが大きく健やかに成長してほしいという願いが、集計結果に表れていました。この結果を生かし、今後の教育活動をさらに発展させていきたいと思ひます。ご家庭でも、今回の結果に目を通して、お子様と学校のことについて話す話題の1つとしてみてください。

令和8年度 教育に関わるアンケート結果(前期)



肯定・・・評価A(そう思う)＋評価B(どちらかと言えばそう思う) 分析		肯定(80%以上肯定)		肯定(80%以上肯定)		肯定(80%以上肯定)	
否定・・・評価C(あまりそう思わない)＋評価D(そう思わない)		否定(50%以上否定)		否定(50%以上否定)		否定(50%以上否定)	
番号	評価内容(カッコ内は教職員)	対象	R7肯定割合	R8肯定割合	前年度比較	分析	
1	子どもたちは、楽しく学校生活を送っている。	児童	97.6%	95.8%	↓	○	
		保護者	96.9%	96.7%	↓	○	
		教職員	100.0%	100.0%	→	○	
2	子どもたちは、伝法小学校と吉原小学校、吉原第一中学校は、「あこがれ・チャレンジ・笑顔」という同じ学校教育目標になっていることを知っている。(目標を意識して生活している。)	児童	86.7%	77.7%	↓	○	
		保護者	93.3%	95.6%	↑	○	
		教職員	91.7%	84.6%	↓	○	
3	子どもたちは、合言葉「やってみます」を意識して学校生活を送っている。(「やってみます」に向けて教育活動に取り組んでいる。)	児童	90.4%	92.1%	↑	○	
		保護者	89.8%	91.9%	↑	○	
		教職員	97.2%	100.0%	↑	○	
4	子どもたちは、自分が住んでいる地域が好きである。家庭で、地域の行事について話をすることがある。	児童	96.9%	95.1%	↓	○	
		保護者	82.0%	60.3%	↓	○	
		教職員	97.2%	100.0%	↑	○	
5	地域の人や、学校のために活動をしていることで、学びや学校生活がよりよくなっている。(地域の人・もの・社会と関わりを深めている。)	児童	98.4%	95.6%	↓	○	
		保護者	98.3%	97.6%	↓	○	
		教職員	94.4%	100.0%	↑	○	
6	子どもたちは、だれにでも進んであいさつができています。	児童	86.1%	88.1%	↑	○	
		保護者	84.5%	83.1%	↓	○	
		教職員	58.3%	65.4%	↑	○	
7	子どもたちは、自分から「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。	児童	92.7%	93.5%	↑	○	
		保護者	90.4%	89.0%	↓	○	
		教職員	88.9%	80.8%	↓	○	
8	子どもたちは、悩みや困ったことなどを相談できる人がいる。(悩みや困ったこと相談している。)	児童	87.9%	87.3%	↓	○	
		保護者	95.6%	95.4%	↓	○	
		教職員	97.2%	96.2%	↓	○	
9	子どもたちは、生活が楽しくなるように工夫して生活している。	児童	92.0%	90.7%	↓	○	
		保護者	92.3%	94.1%	↑	○	
		教職員	94.4%	96.0%	↑	○	
10	子どもたちは、相手のことを考えて行動している。	児童	89.6%	93.5%	↑	○	
		保護者	92.0%	89.6%	↓	○	
		教職員	97.2%	96.2%	↓	○	
11	自分たちの学校がきれいになるよう、進んで掃除をしている。家庭で、自分が使った場所をきれいにしている。	児童	93.7%	93.1%	↓	○	
		保護者	64.0%	59.0%	↓	○	
		教職員	80.6%	69.2%	↓	○	
12	子どもたちは、自分にはよいところがあると思っている。(よさを認め励ますために意図的な関わりや場面を設定している。)	児童	84.4%	85.4%	↑	○	
		保護者	94.8%	92.1%	↓	○	
		教職員	97.2%	100.0%	↑	○	
13	授業が楽しい。(子どもたちは、楽しく行っている。)	児童	96.3%	94.1%	↓	○	
		保護者	93.1%	91.9%	↓	○	
		教職員	100.0%	100.0%	→	○	
14	子どもたちは、授業(学習したこと)が分かっている。	児童	91.6%	91.9%	↑	○	
		保護者	84.5%	84.0%	↓	○	
		教職員	100.0%	100.0%	→	○	
15	子どもたちは、自分の考えを友達にわかりやすく話したり、友達の考えを最後まで聞いたりしている。(自分の考えをわかりやすく話したり、話を最後まで聞いたりする力が付いてきている。)	児童	92.2%	94.4%	↑	○	
		保護者	78.4%	76.5%	↓	○	
		教職員	94.3%	96.0%	↑	○	
16	子どもたちは、チャレンジノートなど、自分から進んで学習に取り組んでいる。家庭で学習する「宿題を含む」習慣がある。(家庭で学習する習慣が身に付いている。)	児童	80.5%	88.1%	↑	○	
		保護者	86.9%	85.3%	↓	○	
		教職員	88.6%	96.0%	↑	○	
17	子どもたちは、分からないことや疑問に思ったことを、友達や先生に訊いている。	児童	86.9%	87.5%	↑	○	
		保護者	77.4%	74.7%	↓	○	
		教職員	100.0%	100.0%	→	○	

肯定・・・評価A(そう思う)+評価B(どちらかと言えばそう思う) 否定・・・評価C(あまりそう思わない)+評価D(そう思わない)		分析○:満足(80%以上肯定) ▼:課題(50%以上が否定)				
18	子どもたちは、学校・家庭でタブレットやパソコンなどを使って学習している。(ICT機器を活用して授業を行っている。)	児童	84.3%	89.3%	↑	○
		保護者	77.5%	75.4%	↓	
		教職員	100.0%	92.0%	↓	○
19	子どもたちは、めあてをもって運動に取り組んでいる。	児童	89.0%	91.2%	↑	○
		保護者	73.3%	73.6%	↑	
		教職員	80.0%	84.0%	↑	○
20	子どもたちは、毎日「早寝・早起き・朝ご飯」ができています。家庭で「早寝・早起き・朝ご飯」を意識した生活を送っている。(規則正しい生活習慣を身に付けられるよう、取り組んでいる。)	児童	76.4%	80.6%	↑	○
		保護者	83.8%	85.9%	↑	○
		教職員	91.4%	80.8%	↓	○
21	子どもたちは、毎日の給食を好き嫌いしないで食べている。家庭で食事のとき、好き嫌いをせず食べている。(苦手な食べ物でも、少しは食べられるようになったり、食の大切さを感じたりしている。)	児童	81.2%	85.6%	↑	○
		保護者	73.3%	73.2%	↓	
		教職員	82.9%	80.8%	↓	○
22	子どもたちは、きまりを守ってけがをしないよう安全に生活している。	児童	89.8%	92.5%	↑	○
		保護者	95.0%	90.8%	↓	○
		教職員	91.4%	84.6%	↓	○
23	子どもたちは、もしものときに、自分の命を守るために考えて行動することができる。	児童	94.5%	96.6%	↑	○
		保護者	90.2%	88.8%	↓	○
		教職員	88.9%	84.6%	↓	○

集計結果について(考察)

よいあらわれ



◎目標について 設問3

本校は、昨年度より「やってみます」を合言葉として、子どもたちの自主性やチャレンジする気持ちを育むことに重点を置いてきました。今回の学校評価アンケート「やってみますを意識して取り組んでいる」の数値は、昨年度よりも高く、児童や保護者の皆様に浸透してきたことを感じます。また、何よりも学校生活のあらゆる場面で、「やってみます」という声が聞かれるようになりました。そして、子どもたちが自分たちの「やってみよう」という思いを、授業や行事の中で自主的に表現することが増えています。「やってみます」の中には、「やってみて失敗してもいいよ。まずやってみよう。」というメッセージも込められています。子どもたちが、これからも多くのことにチャレンジできるよう、場面の設定や声掛けなどをして支援していきます。



◎運動について 設問19

「子どもたちは、めあてをもって運動に取り組んでいる」の項目では、児童・保護者・教職員ともに令和7年度の数値を上回りました。体育科の授業で、一人一人がめあてを持って運動をしている成果が出ていることを感じます。体育科の授業では、子どもたちの「この技ができるようになりたい。」や「この記録まで到達したい。」という一人一人思いを大切にしています。また、子どもたち一人一人が自分のめあてを達成することに重点を置いて支援することを積み重ねてきました。このような取組の中で、「めあてを持って運動している」子どもたちが増えてきたことは、大変嬉しいことです。さらに、前期にはスポーツカーニバルがあり、全校で運動に親しむ機会がありました。様々な取組の成果が出てきていることを今後の活動にもつなげ、より運動に親しめるようにしたいと思います。



改善したいあらわれ

○清掃活動について 設問11

「自分たちの学校がきれいになるよう、進んで掃除をしている。家庭で、自分が使った場所をきれいにしている。」の項目では、児童・保護者・教職員ともに令和7年度の数値を下回ってしまいました。また、児童の数値は高いのですが、保護者・教職員の数値が低くなっていることも特徴として挙げられます。児童が清掃活動に達成感や満足感を持つことは大切ですが、保護者や教職員から見ると、「もっと丁寧に」や「もう少しきれいに」という思いがあるのかもしれません。「清掃の時間があるからやる」「言われたからやる」のではなく、「使った場所をきれいにすることは、なぜ大切なのか。」を子どもたち自身が考え、取り組むことが大切だと思います。子どもたちが考えて取り組めるよう、学校や家庭で声を掛けていきましょう。



心掛けていきたいこと

○地域とのかかわりについて 設問4・5

設問4、5では、令和7年度より数値が下がっている項目もありますが、全体として地域を大切にして生活していることが分かります。伝法小学校は、コミュニティスクールとして地域とともにある学校づくりを進めています。学校の教育活動の多くの場面で地域の方が関わって子どもたちを育てることは、「子どもたちの視野を広げることができる。」「多くの人に見守られている安心感につながる。」などの利点がたくさんあります。学校の草取りや剪定をしてくださる小川会の皆様、昼休みに昔の遊びを教えてくれる悠容クラブの皆様、登下校の見守りをしてくださるながら見守り隊の皆様、朝の読み語りをしてくださる伝法子どもと遊ぶ会の皆様、子どもたちの学習活動や清掃活動のお手伝いをしてくださるボランティアの皆様など、たくさんの方が協力してくださっています。子どもたちのアンケート結果の数値が高いのも、たくさんの方が関わってくれていると感じているからだと思います。また、授業においても、地域の探検や地域のお店や遺跡をつかった授業を行うことで地域への理解を深めています。今年度、3年生は、総合的な学習の時間に「地域のヒーロー」について学習しています。これからも、「地域とともにある学校」として、教育活動を行っていきます。ご家庭でも、お子様が学習した地域のことやボランティアについて、お子様とお話してみてください。

※学校評価アンケートの記述欄にも、貴重なご意見をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

全職員で共有し、今後の教育活動につなげてまいります。